カトリック山手教会月報

やまて

編集・発行　カトリック山手教会 広報委員会　〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎（045）641－0735　http://catholicyamate.org/
第660号　2025年2月9日

2025年通常聖年開幕式

式典の様子

昨年12月29日（日）11時30分からラファエル梅村昌弘司教主司式により、マリア像のある庭で2025年通常聖年開幕の典礼が執り行われました。

梅村司教は、開祭の挨拶とともに神をたたえ賛美するよう会衆を招き、助祭がヨハネによる福音書（14章１－７節）と聖年を公布する教皇フランシスコの大勅書『希望は欺かない』を朗読しました。司教が香炉に香を入れ、十字架、奉仕者、司祭団、会衆の順で典礼聖歌158「門よとびらを開け」を歌いながら聖堂正面まで行列を行いました。会衆は階段の下に待機し、司祭団は扉がある階段の上まで上って十字架を掲げ、司教は「キリストの十字架は、わたしたちの唯一の希望」と唱え、会衆は「あなたは、わたしたちの希望。わたしたちは決して惑わされることはありません」と応唱しました。司教は十字架を戻し、奉仕者とともに内陣に向かい、会衆も続いて聖堂に入りました。

司教は祭壇で水の祝福を行い、特別聖年の十字架、共同司式者、奉仕者と、聖堂内を巡って会衆に潅水しました。この間、会衆は聖歌隊のリードで典礼聖歌96番「この水を受けた」を歌い、司教が祈りを唱え、栄光の賛歌が歌われ、集会祈願から「聖家族の祝日」の通常どおりのミサが行われました。

行列の開始

十字架を掲げて

（編集部　土方芳人）

鈴木真主任司祭主日ミサ説教

2024年12月22日　待降節第４主日　C年
ルカ福音書１章　39－45節

マリアのエリサベト訪問の箇所です。イエス誕生の物語を語るのはマタイとルカだけですが、不思議なことにマタイは、それをヨセフを通して、ルカは逆にマリアを通して描こうとします。

ルカの箇所を読む時、いつも感じるのはマリアの問いかけです。「なんでこのわたし？そして、なんで今？（フィアンセがいる…）」ルカは天使ガブリエルにマリアが即答したように描きますが、実際は相当悩んだのではないか、と想像します。でも、それが神さまの選びなのですね。人間の「なぜ？」には、もしかしたら答えはないのかもしれません。

きょうの箇所に続く『マリアの賛歌』にあります。「今から後、いつの世の人もわたしを幸いな者と言うでしょう。力ある方が（身分の低い、この主のはしために）偉大なわざをなさいましたから。」小さい者、弱い者を通してこそ、神さまは、はたらかれている。無論、強い人、偉大な人を通しても神さまは、はたらかれるのでしょうけど、神さまの選びは全く不思議なものなので、むしろ「小さい人」が輝くのだと思います。

「なんでこのわたし？どうして今？」それはわからないけど、その「わたし」に今、のぞんだ神さまのわざを、マリアは真正面から受け止めました。聖母マリアを教会が特別の尊敬をもって扱う理由は、まさにここにあります。

わたしたちも、しばしば同じ問いかけをするでしょう。「どうしてわたし？なんで今？」と。加えて文句を言いたくなる。「ちょっと、今は勘弁してくださいよ！そして、わたしでなくてもいいでしょう！」そのような時、同じ問いを持ちながらも、真正面からそれを受け止めた聖母マリアの取り次ぎを、共に求めたいと思います。

教会大掃除実施

昨年12月７日（土）９時から各組織の信徒が協力して聖堂・教会ホールの大掃除を実施しました。

参加者は、小倉謙教会委員会委員長、ピエールICC（国際コミュニティー委員会）代表などでした。今年もICCから男女ともに多くのメンバーが参加され、男性は圧倒的に外国籍の方々でした。特に、聖堂の重たい会衆席の移動では大変助かりました。信徒の高齢化が進む日本人に対し、外国から日本に働きに来ている男性は、ほとんどが働き盛りの若い世代です。掃除の開始と終わりには全員が聖堂に集まり、ダリル師に祈りをささげていただきました。昼食は、ロザリオ会の方々が準備された、おいしいカレーライスを和気あいあいでいただきました。

「神の家」の大掃除に参加された皆さん、お疲れさまでした。

重たい会衆席も笑顔で

皆、笑顔です

（編集部　土方芳人）

2024年ICCキャロルの夕べ

2024年12月１日（日）、「キャロルの夕べ」が行われました。薄寒い「夕べ」でしたが、皆さんは一緒に「夕べ」を楽しむために寒さに耐えて聖堂に来ました。わたしたちのコミュニティで、この行事を実施するのは以前からの伝統でした。

今年、子どもたちを含めて英語で歌ったグループが４つ、それ以外に日本語、マラヤーラム語とタミル語、フランス語とフィリピン語で歌ったグループは各々1つのグループで全体８つのグループになりました。多様な言語で美しく歌ったキャロルが聞こえるのは素晴らしい経験でした。最後に、皆さんは一緒に「しずけき」という伝統的なキャロルを歌いました。

私と同じ言語学校に通っているアメリカのミズーリ州出身の友達を連れてきました。「最後の聖歌隊の最初の歌が泣きそうなほど感動的だった。い

ろいろな国の言語と文化に触れるというのは、この教会特有の魅力だ」という印象を述べました。キャロル後のポットラックパーティーで、ご飯を食べながらもう1人の参加者に「夕べ」はどうでしたかと聞きました。「人数は去年より今年の方が多かった。いつものように、子どもたちに歌ってもらって嬉しかった」と言いました。

将来、このクリスマスの日を振り返ると、私たちは自分の母国から離れたのに日本でこのようにクリスマスを共にお祝いできたのが素敵な思い出になることでしょう。

子どもたちの聖歌隊

聖堂が埋めつくされました

（文：ICCメンバー　クローディア・ゴー
撮影：編集部　土方芳人）

※クローディア・ゴー（Claudia Goh）さんからは、日本語で原稿をいただきました。

ミニ福祉バザー開催の御礼

11月24日に今年度２回目のミニ福祉バザーを開催することができました。好天にも恵まれて、多くの皆様のご来場を賜りましたことを感謝いたします。小さなイベントであっても、それを着実に息の長い活動として、しっかりと継続していきたいと考えています。今後もよろしくお願いいたします。

今回も参加団体からのお礼の言葉を届けさせていただきます。

【わたぼうし教室】

私たちは「外国にルーツがある子ども」たちの学習支援と難民支援活動をしている「わたぼうし教室」です。横浜市を拠点に、さまざまな事情を抱える子どもたちや大人に関わっています。本日は難民の方たちが手作りしたお菓子やクリスマスリースを持ってまいりましたが、皆様とお話しながら、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。心より感謝申し上げます。これからも今日の出会いを大切にしていきたいです。

【シャロームの家】

今年も大変お世話になりました。お元気でしょうかといっても、少々寒かったです。今聞いたところ売り上げは昨年の倍近くあったようです。年末に向けて、シャロームの利用者の工賃に少しでも多く渡せそうです。

【麦の丘】

今年も販売の機会をいただく事ができ、大変感謝しております。「今年も待っていました」と温かいお言葉も嬉しく思います。また来年もご縁がありましたら、宜しくお願い致します。

【わくわくランド】

お天気にも恵まれ、山手教会の皆様の温かい笑顔の中、とても楽しいミニバザーを過ごすことが出来ました。わくわくランドのメンバーさんの作品を多くの方に見ていただける機会をいただけたこと、感謝しております。又お声がけ頂ければうれしいです。

【グロリア合唱団】

グロリア少年合唱団も今日は団員が来れず残念でしたが、何か機会がありましたら団員と一緒に伺わせて頂ければ幸いです。今日は一日ありがとうございました。

【たんまち福祉活動ホーム】

晴れやかな天気の下、今日も山手教会のバザーでの販売に参加させて頂きました。最初は、今日はどうかなと思っていましたが、持参したクッキーはあっという間に売切れてしまいました。その他にもロザリオだったり、かわいい雑巾やポストカードがびっくりする程売れました。自分が最初に参加した初回のバザーより明らかに売れていく様子に、続けていくことの大切さをつくづく感じました。

いらっしゃいませ！

（福祉委員会　委員長　大森秀樹）

ボーイスカウトのクリスマス会

ビーバー隊のクリスマス会の練習は４時間ぐらい、まぁまぁのまとまりでしたが声は小さく、本番ではうまくいくか不安でした。クリスマスソングは、あわてんぼうのサンタクロース、赤鼻のトナカイ、そして、アンコールに備えて、もみの木を練習しました。子どもたちはサンタの衣装をまとい、曲が進むたびに声は大きくなり、楽しそうな顔で歌うことができました。アンコールのもみの木では声も揃い、練習より何倍も上手に歌えました。

（ビーバー隊　隊長代理　細貝昭一）

カブ隊は、全員で「大阪うまいもんの歌」、オリジナルの「横浜うまいもんの歌」の手遊び歌、ハンドベル（クリスマソング２曲と「お正月」）のスタンツ（寸劇）を披露しました。クリスマス会当日一日だけの練習、ぶっつけ本番とは思えないくらいの完成度で、本番が一番上手に演奏できました。

（カブ隊　隊長　山門純也）

ボーイ隊は「サンタクイズ」と銘打った三択クイズ大会を催し、会場の皆さんに答えていただきました。クリスマスツリーのてっぺんの星は何かとか、手旗は何を示しているかなど、クリスマスとボーイスカウトに関する問題を織り交ぜてボーイ隊でどんなことを訓練しているのか、知っていただけたかと思います。

（ボーイ隊　隊長　武田信一）

ガールスカウト神奈川県連盟 70周年式典に参加

クリスマスも近い12月22日（日）に、ガールスカウト神奈川県連盟70周年の式典が紅葉坂にある県立青少年センターで開催されました。

各団旗入場に始まり、大勢の方々からお祝辞をいただきました。会場はスカウトたちのパワーあふれるダンスなどのパフォーマンスとフラッグが立ち並び、楽しくにぎやかな70周年の式典となりました。85団もシニアスカウトが堂々と団旗を掲げて入場してくれま

した。これから先につなげていけるように、スカウトの増えることを願いながらの式典参加でした。

（ガールスカウト神奈川85団
団委員長　梅田啓子）

聖歌隊の新年会

１月12日（日）、１年に一度の聖歌隊総会の後、夕刻６時より新年会が行われました。

今年は久しぶりに山下町のローマステーション。残念なことに司教様、鈴木神父様、ダリル神父様は他の約束があって参加されませんでしたが、内藤神父様は昨年に引き続き出席されました。聖歌隊メンバーばかりでなくオルガニストも多数参加され、またいつも大変お世話になっている教会事務所の原さんも参加されました。このレストランは、聖歌隊の２人の方が、海外赴任が決まった時に送別会をしたという思い出の場所でもありました。

コロナ禍をはさんだ年月の間、聖歌隊では亡くなられた方、病気療養中の方、また引っ越しをされたり施設に入られたりで隊を離れた方が多くいます。新年会はそういう方を思って、みんなでお祈りをささげて始まりました。そして、初めて参加するという隊員も少なからずいましたので、全員に自己紹介をしてもらいました。練習にはなかなか参加できなくても、年に一度は必ず顔を見せてくれる人もいますし、和やかな雰囲気の中、おいしいお酒とお料理をいただきました。毎年、私がクイズを10問用意して正解者には景品を差し上げています。問題とその景品を選ぶのも楽しいものです。いつも問題が難し過ぎると言う人がいるので、今年の第一問は、その前の週「主の公現」の11時半のミサのお説教で、鈴木神父様が話された４人目の王様の名前でした。でも答えられたのは内藤神父様で、さすがだなと感心しました。

小さなキーボードを持参して、「ごらんよ空の鳥」を歌ったご夫婦に合わせ２番は全員で合唱し、それから太田さんに伴奏をお願いして聖歌隊のテーマソング「ガリラヤの風」を歌いました。昨年までは、いつも詩吟の先生が最後に「富士山」を吟じてお開きとなるのでしたが、高齢になられ施設に入られ参加できなくなったことが寂しい限りでした。

エドガー・アラン・ポーの「大鴉」という詩をふと思い出しました。部屋の空気が濃密になり、目には見えないセラフィーヌたちが香炉をささげてしずしずと通って行きます。部屋には、その香の匂いが立ちこめます。見えない存在であったとしても、かつて集ったメンバーは、そのセラフィーヌたちのように食卓を囲んでいるだろうと信じました。そして、やがては私も見えない存在となってセラフィーヌたちのように香炉をささげていることでしょう。その時まで、また、その後も、どうか聖歌隊の活動が続いていますようにと祈りました。

（聖歌隊　副隊長　山本 紀志子）

世界祈祷日　３月７日に山手教会で開催

３月７日（金）午後１時30分より山手教会で世界祈祷日が開催されます。

この祈りは、1887年にアメリカの女性たちによって始まりました。世界中で３月第１金曜日に教派を超えて同じ式文で祈りをささげます。横浜地区では日本基督教団、カトリック、日本聖公会、日本バプテスト同盟、福音ルーテル、救世軍、矯風会が参加しています。山手教会がいつごろから参加したかは不明ですが、ロザリオ会有志の方がリーストコインと共に始めたそうです。1970（昭和45）年『やまて』４月号（第９号）に山手教会で開催された世界祈祷日の記事があり、底冷えのする寒い日に各教派の担当委員他、総勢86人が参加したとあります。

今回の祈祷対象国はクック諸島、テーマは「わたしたちはおそろしいほどに、すばらしく造られています」。世界祈祷日では女性たちに注目していますが、男性もこの祈りに参加されています。どのように祈るのか、礼拝ともミサとも異なる祈りの集まりに、ぜひ、ご参加ください。

（ロザリオ会　竹之内 弘美）

ロザリオ会便り

2025年通常聖年が始まりました。山手教会は横浜

教区唯一の巡礼指定教会、聖堂です。今年の１月１日「神の母聖マリア」の祝日の司教司式のミサ後、世田谷教会から来ましたという方に声をかけられお話をしました。これからは、あちこちの教会から山手に来られる方が増えるだろうと思われます。2000年の大聖年の時のように、巡礼者をお迎えするお手伝いをすることも、今年のロザリオ会の仕事の一つであると思います。また「希望の巡礼者」という聖年の賛歌もありますので、ロザリオ会主催のミサでは、みんなで歌っていこうと思います。ずいぶん昔、天草の大江教会を訪れた時、ちょうどいらしたシスターとお話ができました。そのときシスターは「お茶の一杯もさしあげられなくてごめんなさい」と、すまなそうに言われました。中世の巡礼を受け入れた人々のように、何か少しでもおもてなしの一翼を担えればと願っています。

目をあげ、ともに歩もう。神は再び来られる。
人となられたみ子は、喜びと希望への道。

※2025年聖年の讃歌「希望の巡礼者」より

（ロザリオ会　広報　山本 紀志子）

墓地委員会からの「お知らせ」

＜墓地利用者へのお願い＞

墓地利用契約者の承継について、現在、墓地委員会では確実な継承ができるよう規程内容の見直しを進めております。昨今、代替わりが増える中、残念ながら、墓地管理料の支払いの遅滞が増えており、中には契約者に連絡が取れない事案も発生しております。安心して末永くご利用いただけるための規程の改定を検討しております。皆様のご理解をお願いいたします。

＜山手墓地募集のお知らせ＞

上記規程改定を進めながら、およそ10年ぶりに、山手墓地の募集を下記要領で行う予定です。

・募集墓地区画数：10区画
・募集期間：2025年４月22日（火）～６月１日（日）
・抽選会：2025年６月15日（日）午後１時～
・対象者：山手教会信徒

募集方法案は、申込希望者へ４月22日（火）以降、教会事務所で書類をお渡しします。６月１日までに所定の申込用紙を提出（含、郵送）ください。６月15日（日）午後１時以降、教会信徒館にて抽選を行う予定です。感謝と祈りのうちに。

（山手教会墓地委員会　委員長　末澤二朗）

2025年１月度教会委員会議事要約

日時：2025年１月５日（日）午後１時～３時10分
場所：司祭・信徒館１階「松・竹」
議事内容（議事進行：小倉委員長）

１　主な審議確認検討事案　※順不同

⑴　フロリダの合唱団の合唱コンサートに関して

●開催は、６月20日（金）午後６時30分から1時間程度。
●当日午後、聖堂で事前の練習を行う。

【決定事項】
・承認する。

⑵　パイプオルガン設置30周年記念コンサート

●山手教会聖堂にパイプオルガンを設置して30年が経過し、これを記念してコンサートを開催したい。

【決定事項】
・開催日は６月29日（日）とする。

⑶　パイプオルガンのストップについて

●聖堂のパイプオルガンのストップ（パイプオルガンの音色を選択する機構「ノブ」）の表示が老朽化しており新調したい。

【決定事項】
・承認する。

⑷「コンビーニ・ディ・コリスタ」のコンサートについて

●「コンビーニ・ディ・コリスタ」よりコンサートを開催したい旨の打診があった。
●ICCによるクリスマス・キャロルの日程との調整も必要と考える。

【決定事項】
・「コンビーニ・ディ・コリスタ」のコンサートは、11月30日（日）とする。
・ICCのクリスマス・キャロルは12月７日（日）とする。

⑸　ポーランドからの巡礼団訪問について
- ２月26日（水）にポーランドのグループが山手教会を巡礼のために訪れたい旨、旅行代理店より連絡があった。

【決定事項】
・承認する。

⑹　通常聖年について
- 山手教会が巡礼教会となっているために準備すべきものを考えたい。

【決定事項】
・巡礼申込書を用意する。

⑺　年末年始の事務所対応について
- 年末年始は、12月29日（日）ミサ後から１月３日（金）まで休みとした。
- １月１日(元日）は、開けていれば人が来る状態で、なかなか聖堂を閉めることができなかった。

【決定事項】
・１月１日（元日）については、ミサ終了後に閉めることとする。

⑻　聖年2025広報活動（制作物）の件について
- 横浜司教区における唯一の巡礼教会として配布物について検討したい。

【決定事項】
・制作する方向で進める。

⑼　信徒大会について
- ２月９日（日）に予定しており、資料については２月２日（日）の教会委員会で最終決定する。

⑽　ロザリオ会より
- ロザリオ会で奉仕される方が減少しており、さまざまな活動に支障が出始めている。
- 活動を行うにあたり、人手が足りないことなどについては、事前に教会委員会で協議し、他の委員会にも協力を仰ぐなど対応を考慮する。

⑾　司祭・信徒館のエレベータについて
- 年末に油漏れが発生した。
- 更改の必要性を含め検討を行う。

２　今後の活動、報告事項

【第３地区全体会について】
- 次回の第３地区全体会は、末吉町教会で１月26日（日）午後３時30分から行われる。
- 「神の愛を証しする力を育てる部門」「祈る力を育てる部門」「信仰を伝える力を育てる部門」の３部門の活動についても始まっている。

【ロザリオ会より】
- ２月のロザリオ会主催ミサは、２月７日（金）鈴木師司式。

【教会学校より】
- １月19日（日）から３学期となる。
- ２月の「子どもとともに、ささげるミサ」は、２月16日（日）に変更となった。

【ICCより】
- 12月24日（火）の横浜雙葉学園でのミサについてICCへの指摘などがあれば伺いたい。
- 積極的に動いていただいて感謝している。

【典礼委員会より】
- 主の降誕、通常聖年開幕式、年始の各ミサについて、ご協力ありがとうございました。
- １月５日（日）に馬小屋を撤去した。
- ４月20日（日）の復活の主日11時30分ミサは、天使ミサで行う予定でクレドもラテン語で唱えるとのこと。
- ２月11日（火・建国記念の日）10時～午後３時30分まで藤沢教会で横浜教区典礼研修会がある。「わたしはせつに願っていた－教皇フランシスコからの典礼的養成の呼びかけを受けて－」をテーマに、カトリック中央協議会の宮越俊光氏が講演される。参加を希望される方は、教会を通じてまとめて申し込む。

３　主任司祭から

- １月11日（土）に横浜教区カトリック学生連盟の新年会を行う。
- １月19日（日）午後４時から聖公会との合同祈祷会を日本聖公会横浜教区平塚聖マリヤ教会で行う。
- １月24日（金）「横浜雙葉高等学校卒業生のためのミサ」を山手教会の聖堂で行う。
- ３月７日（金）午後１時30分から３時30分までNCC女性委員会が世界祈祷日の横浜地区集会を山手教会の聖堂で行う。

４　次回教会委員会

2025年２月２日（日）午後１時～３時終了予定。

（総務担当　宮 裕一）

2025年２月・３月主日ミサの聖歌および奉仕者予定表

	主日	聖歌			聖歌隊	時間	奉仕者				備考
		答唱詩編	アレルヤ唱	ミサ曲			オルガン	先唱	聖書朗読		
２月９日	年間第５主日	典134 ①②③	典268 年間5C	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	忠　海	齋藤(悠)	小佐井	福田(直)	
						７：30	手　塚	二　宮	東海林(珠)	時久(毅)	
					＊	11：30	佐　藤	遠　藤	石田(明)	中野(説)	
16日	年間第６主日	典100 ①②④	典271 年間第6C	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	村　松	工藤(元)	飯塚(秀)	志村(光)	
						７：30	渡　邊	末　澤	石川(喜)	工藤(元)	
						11：30	太　田	子どもとともに、ささげるミサ			
23日	年間第７主日	典93 ①③④	典268 年間第7C	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	太　田	宮(裕)	工藤(元)	島田(節)	
						７：30	手　塚	亀　井	古谷(浩)	藤本(茂)	
					＊	11：30	中　川	村田(義)	高橋(佳)	中山(峯)	
３月２日	年間第８主日	典143 ①③	典271 年間第8C	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	渡　邊	竹之内	新井田	阿部(眞)	
						７：30	中　川	石　賀	鈴木(幸)	鈴木(由)	
					＊	11：30	手　塚	山本(紀)	清水(美)	大澤(弘)	
５日	灰の水曜日	典6 ①②	典261 ③	ミサ曲A 典605～9		11：30	太　田	(選定中)	稲葉(千)	高橋(佳)	
９日	四旬節第１主日	典129 ①②③	典260 第1主日	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	村　松	齋藤(悠)	小佐井	福田(直)	
						７：30	手　束	二　宮	東海林(珠)	時久(毅)	
					＊	11：30	佐　藤	遠　藤	石田(明)	中野(説)	
16日	四旬節第２主日	典73 ①②③	典260 第2主日	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	村　松	工藤(元)	飯塚(秀)	志村(光)	
						７：30	渡　邊	末　澤	石川(喜)	工藤(元)	
						11：30	太　田	子どもとともに、ささげるミサ			
23日	四旬節第３主日	典93 ①②③	典260 第3主日C	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	忠　海	宮(裕)	工藤(元)	島田(節)	
						７：30	手　塚	亀　井	古谷(浩)	藤本(茂)	
					＊	11：30	岡　村	小　倉	中川(由)	池田(恵)	
30日	四旬節第４主日	典128 ①②③	典260 第4主日C	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	太　田	柳　川	工藤(元)	櫻井(智)	
						７：30	小　嶋	時　久	梅田(啓)	稲葉(千)	
						11：30	米　沢	村田(義)	小松(美)	荻原(恵)	

編　集　後　記

小さな「ふれあい」。わたしは日常生活で小さな「ふれあい」を楽しんでいます。ある日、トレーニングを兼ねて山下公園に行き、いつもどおり岸壁から、しばらくの間、港を眺めて景観を楽しんだのち、トレーニングの早歩きを再開すると、反対方向から走って来た外国人と目が合いました。その人の身長は１m80cmぐらいで、全身をオレンジ色のトレーニングウェアで身を包み、白髪にキリッとスポーツ・ヘアバンドをした70歳代と思えるすてきな白人男性でした。お互いにアイコンタクトをして、わたしがハロー（Hello）と笑顔で挨拶をすると、彼もうれしそうにハローと挨拶を返してくださいました。その人は、今回、初めて出会った方でしたが、わたしは基本的に観光やトレーニングなどをしている外国人に出会うと、笑顔で挨拶することにしています。その理由は、わたしが外国を旅行しているときに現地の方から笑顔で挨拶されて、とてもうれしかったからです。投げかける言葉は、すべてハローです。この言葉は、ほとんどの方が理解されるようです。たとえ言葉が理解できなくても、こちらが相手の目を見て軽く手をあげ、笑顔で声をかけているので「自分に挨拶している」と理解され、ほとんどの方が笑顔を返してくれます。一人暮らしのわたしにとっては、貴重な「ふれあい」です。　（土方芳人）

☆表紙のカット（山手教会）は、濱尾文郎枢機卿様の「えはがき」です。